

都市像 第5編

基本施策 第3章

節 第1節

施策番号 41

にぎわいにつながる産業 の振興

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	大規模小売店舗立地等生活環境保全					[マ]	事業類型	内部事務				
担当部課	産業振興部産業政策課											
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
予算	会計					款				項		
根拠	大規模小売店舗立地法、特定商業施設の出店に伴う生活環境保全に関する要綱											
事業目的	法に規定する一定規模(1,000㎡超)の店舗面積を有する小売店の立地に際し、立地地元市として生活環境保全の観点から東京都へ意見具申する。また、法に規定する店舗面積に満たない一定の規模を有する小売店等に対しても、要綱に基づき同様の趣旨で協議を行う。											
人員体制			25年度		26年度		27年度		対前年度			
	一般職員		0.30人		0.23人		0.28人		0.05人			
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人			
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人			
	計		0.30人		0.23人		0.28人		0.05人			
行政コスト	(単位 円)											
事業費			25年度		26年度		27年度		対前年度			
	人件費		0		0		0		0			
	物件費		0		0		0		0			
	委託料		0		0		0		0			
	光熱水費		0		0		0		0			
	賃借料		0		0		0		0			
	その他物件費		0		0		0		0			
	維持補修費		0		0		0		0			
	その他		0		0		0		0			
	計		0		0		0		0			
その他コスト	職員費		2,675,203		1,817,000		2,212,000		395,000			
	減価償却費		0		0		0		0			
	賞与引当金繰入額		160,567		126,814		155,272		28,458			
	退職給与引当金繰入額		16,010		0		126,251		126,251			
	計		2,851,780		1,943,814		2,493,523		549,709			
行政コスト 計		2,851,780		1,943,814		2,493,523		549,709				
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0			
	都支出金		0		0		0		0			
	市債		0		0		0		0			
	使用料・手数料		0		0		0		0			
	その他		0		0		0		0			
	一般財源		0		0		0		0			
	事業費財源 計		0		0		0		0			
事業費及び事業費財源の主な増減説明												

27年度 目標	届出に応じた協議会の開催、事業者協議	26年度末時点 の課題	かつての本店法と異なり、地元経済への影響に配慮した「商業調整」が法的に不可能であること、出店に対する何らかの利害調整を求める市民(既存事業者)からの期待との間に隔たりがあること。			
活動実績	大規模小売店舗立地協議会の開催及び事業者との協議 【協議会の開催状況と内容】 5/12開催 大規模小売店舗新設 2件 特定商業施設出店 1件 10/1開催 大規模小売店舗新設 2件					
27年度評価	達成	次年度の展開	現状維持			
活動推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度
	活動指標					0
	年間経費	円	2,851,780	1,943,814	2,493,523	549,709
	利用者1人あたりコスト	円/人				
28年度 目標	届出に応じた協議会の開催、事業者協議	27年度末時点 の課題	かつての本店法と異なり、地元経済への影響に配慮した「商業調整」が法的に不可能であること、出店に対する何らかの利害調整を求める市民(既存事業者)からの期待との間に隔たりがあること。			
28年度の取組	届出に応じた協議会の開催及び事業者協議を行うとともに、時宜を捉え可能な限り早期の情報収集に努め、庁内での連携協力体制の強化を図る。	29年度の計画	届出に応じた協議会の開催、事業者協議			
庁内評価 (二次評価)	【評価】					

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	地域活性化・地域住民生活等緊急支援					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	産業振興部産業政策課											
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-
予算	会計	一般会計		款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	20	地域活性化・地域住民生活等緊急支援費
根拠	「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」について(平成26年12月27日閣議決定)											
事業目的	市内の消費喚起及び子育て・高齢者世帯の生活支援を目的とする。											
人員体制			25年度	26年度	27年度	対前年度						
	一般職員		0.00人	0.00人	2.78人	2.78人						
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人						
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人						
	計		0.00人	0.00人	2.78人	2.78人						
行政コスト	(単位 円)											
事業費			25年度	26年度	27年度	対前年度						
	人件費		0	0	0	0						
	物件費		0	0	470,580,779	470,580,779						
	委託料		0	0	433,357,116	433,357,116						
	光熱水費		0	0	0	0						
	賃借料		0	0	38,850	38,850						
	その他物件費		0	0	37,184,813	37,184,813						
	維持補修費		0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0						
	計		0	0	470,580,779	470,580,779						
その他コスト	職員費		0	0	21,962,000	21,962,000						
	減価償却費		0	0	0	0						
	賞与引当金繰入額		0	0	1,541,632	1,541,632						
	退職給与引当金繰入額		0	0	1,253,494	1,253,494						
	計		0	0	24,757,126	24,757,126						
行政コスト 計			0	0	495,337,905	495,337,905						
事業費財源	国庫支出金		0	0	274,865,949	274,865,949						
	都支出金		0	0	131,397,000	131,397,000						
	市債		0	0	0	0						
	使用料・手数料		0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0						
	一般財源		0	0	64,317,830	64,317,830						
	事業費財源 計		0	0	470,580,779	470,580,779						
事業費及び事業費財源の主な増減説明	国の緊急経済対策で創設された交付金を活用するものであり、前年度以前は事業実施が無かったため。											

27年度 目標	市内消費の喚起及び子育て・高齢者世帯の生活支援	26年度末時点 の課題	未実施				
活動実績	(産業政策課へ執行委任) ・プレミアム付商品券の販売数:133,300冊(799,800枚) ・子育て応援券及び高齢者支援券の発行枚数:243,900枚 ・換金(利用)された商品券枚数:1,027,171枚						
27年度評価	達成	次年度の展開	廃止				
活動推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度	
	活動 指標	商品券換金(利用)枚数	枚			1,027,171	1,027,171
		年間経費	円	0	0	495,337,905	495,337,905
		利用者1人あたりコスト	円/人			482.24	
28年度 目標	実施予定なし	27年度末時点 の課題	商品券の販売に関し、販売業務の再委託先で不正行為が行われた。同様の事業を再度実施する場合には、今回の事例を踏まえ、委託先に対し指導や注意喚起等を行う必要がある。				
28年度の取組	実施予定なし	29年度の計画	実施予定なし				
庁内評価 (二次評価)	【評価】						

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	中心市街地の活性化					事業類型	補助・負担・支援					
担当部課	拠点整備部中心市街地政策課											
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略		
予算	会計	一般会計		款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠	中心市街地活性化基本計画											
事業目的	魅力ある個店の増加や空き店舗の減少、また、中心市街地全体に来訪者が足を運ぶような新たな仕組みを創出することで、中心市街地の賑わいを生み出し、まちの回遊性を向上させる。											
人員体制			25年度	26年度	27年度	対前年度						
	一般職員		1.57人	1.75人	1.95人	0.20人						
	任期付職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人						
	再任用職員		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人						
	計		1.57人	1.75人	1.95人	0.20人						
行政コスト	(単位 円)											
事業費			25年度	26年度	27年度	対前年度						
	人件費		0	0	0	0						
	物件費		3,179,516	2,985,122	1,760,400	1,224,722						
	委託料		3,032,552	2,985,122	1,760,400	1,224,722						
	光熱水費		146,964	0	0	0						
	賃借料		0	0	0	0						
	その他物件費		0	0	0	0						
	維持補修費		0	0	0	0						
	その他		5,701,173	6,882,305	12,995,538	6,113,233						
	計		8,880,689	9,867,427	14,755,938	4,888,511						
その他コスト	職員費		14,000,230	13,825,000	15,405,000	1,580,000						
	減価償却費		0	0	0	0						
	賞与引当金繰入額		840,301	774,038	1,081,361	307,323						
	退職給与引当金繰入額		83,784	0	879,250	879,250						
	計		14,924,315	14,599,038	17,365,611	2,766,573						
行政コスト 計		23,805,004	24,466,465	32,121,549	7,655,084							
事業費財源	国庫支出金		0	0	0	0						
	都支出金		0	0	0	0						
	市債		0	0	0	0						
	使用料・手数料		0	0	0	0						
	その他		0	0	0	0						
	一般財源		8,880,689	9,867,427	14,775,938	4,908,511						
	事業費財源 計		8,880,689	9,867,427	14,775,938	4,908,511						
事業費及び事業費財源の主な増減説明	新規事業として「中心市街地魅力づくり支援」(5,000千円)が始まったため。											

27年度 目標	小規模なイベント開催の支援の仕組みを構築する。また、中心市街地内に魅力的な滞留拠点や休憩スペース等をつくる商店街等の取り組みに対し、補助することで来街者の滞在時間や回遊性の向上を図る。	26年度末時点 の課題	中心市街地内に休憩スペースや滞留拠点が存在しないため、来街者の滞在時間が短くなり、回遊性が伸び悩む傾向にあった。また、ユーロード等でイベント開催の要望があっても、小規模の場合、備品費等がかさみ、開催できないことが多く、まちの賑わい創出の機会を逃してしまうことがあった。				
活動実績	イベント開催者にとって負担となっていたテント費用を軽減し、イベントの継続性の向上等に繋げるため、中心市街地内で開催されるイベントに対してまちづくり会社が貸し出すイベント用テントの購入費を補助し、11張のテントの貸し出しが始まった。また、新規事業として開始した「中心市街地魅力づくり支援」により、中心市街地内に2ヶ所の魅力的な滞留拠点が整備され、まちの賑わい創出につながった。						
27年度評価	達成	次年度の展開	拡充				
活動推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度	
	活動 指標	中心市街地歩行量 (29地点、平休日合計13時間)	人	931,081	951,783	979,015	27,232
		年間経費	円	23,805,004	24,466,465	32,121,549	7,655,084
		歩行者1人あたりコスト	円/人	25.57	25.71	32.81	7.10
28年度 目標	来街者のまちなかでの利便性の向上や、中心市街地全体に足を運ぶような新たな仕組みの構築等により中心市街地の賑わいを生み出し、まちの回遊性を向上させる。	27年度末時点 の課題	産業交流拠点の整備やオリンピック等により外国人を始めとした来街者の増加が見込まれている中で、必要とされているWi-Fi環境が整備できていない。また、今後の中心市街地の活性化を促進するためには、行政だけでなく民間の手による地域の管理(エリアマネジメント)が必要である。				
28年度の取組	27年度に引き続き、魅力的な滞留拠点等を整備する取り組みに支援を行う。加えて、更なるまちの賑わいを生み出すため、今後のエリアマネジメント活動へ繋げることを目指した道路上でのオープンカフェの実施や、情報の発信に向けたWi-Fi環境の整備を行う。	29年度の計画	西放射線ユーロードの再整備や全国都市緑化はちおうじフェアに合わせ、Wi-Fiの増設やオープンカフェを実施する。また、中心市街地の来街者や店舗のデータが不足しているため、空き店舗対策等の事業構築に必要な調査を行う。				
庁内評価 (二次評価)	【評価】						

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	(仮称)MICE都市推進センター設立準備					事業類型	調査・企画立案						
担当部課	産業振興部産業政策課												
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-		
予算	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠	産業振興マスタープラン[第2期]、観光産業振興会議報告書												
事業目的	八王子商工会議所との連携により設立した八王子MICE都市推進センター準備室に対する補助を実施し、本市の観光資源・産業資源を生かしたMICE誘致戦略を展開することで、中心市街地をはじめとした市域への一層の誘客を図り、まちのにぎわいの創出につなげるとともに、経済波及効果を生み出していく。												
人員体制			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	一般職員		0.00人		0.68人		0.70人		0.02人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.00人		0.68人		0.70人		0.02人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		0		0		282,435		282,435				
	委託料		0		0		6,780		6,780				
	光熱水費		0		0		15,771		15,771				
	賃借料		0		0		259,884		259,884				
	その他物件費		0		0		0		0				
	維持補修費		0		0		0		0				
	その他		0		8,741,000		10,055,271		1,314,271				
	計		0		8,741,000		10,337,706		1,596,706				
その他コスト	職員費		0		5,372,000		5,530,000		158,000				
	減価償却費		0		0		0		0				
	賞与引当金繰入額		0		374,928		388,181		13,253				
	退職給与引当金繰入額		0		0		315,628		315,628				
	計		0		5,746,928		6,233,809		486,881				
行政コスト 計		0		14,487,928		16,571,515		2,083,587					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		141,901		141,901				
	一般財源		0		8,741,000		10,195,805		1,454,805				
	事業費財源 計		0		8,741,000		10,337,706		1,596,706				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	「実施計画」の策定経費による増												

27年度 目標	MICE誘致活動の基礎となる「基本構想」を踏まえ、「実施計画」を策定する。	26年度末時点 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本構想」を基にした、実現可能性のある(現実的な)内容の「実施計画」の策定(27年度事業) ・専門性を有する人材を確保した上で、コンベンション機能を有する組織を立ち上げ(28年度想定) 				
活動実績	<p>先進的にMICEに取り組む自治体を対象に、組織形態及び事業内容の調査を行い、この結果をもとに(仮称)八王子MICE都市推進センターの組織形態の検討を進めた。さらに、産業交流拠点の本格運用開始までを見据え、具体的な事業を示した実施計画を策定した。</p>						
27年度評価	達成		次年度の展開	現状維持			
活動推移			単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度
	活動指標	ワーキング会議の開催回数			14	25	11
	年間経費		円	0	14,487,928	16,571,515	2,083,587
	利用者1人あたりコスト		円/人		1,034,852.00	662,860.60	371,991.40
28年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・一般観光部門とコンベンション部門の両機能を統合した新組織の設立に向けて諸課題を整理する。 ・今後の交流人口創造に向けた新たな観光事業の展開を図るとともに、MICE誘致活動を始動する。 		27年度末時点 の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本構想」及び「実施計画」を踏まえ、MICE (Meeting(会議・研修・セミナー)、Incentive tour(報奨・招待旅行)、Convention(大会・学会・国際会議)、Exhibition(展示会)の重点分野の早期選定 ・MICE誘致活動を担う人員の配置と人材育成 			
28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興及びMICE推進に係る組織のあり方検討会議の開催と観光協会、商工会議所での機関決定 ・地域資源のリサーチ、ガイド制作をはじめ、29年度以降の誘致に向けた商品開発、ネットワーク構築等 		29年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致事業 <ul style="list-style-type: none"> 商品開発、ネットワーク構築の推進 ・シティプロモーション事業 <ul style="list-style-type: none"> 基礎的な広報ツールの制作 ・自主事業(育成型事業) <ul style="list-style-type: none"> ニーズ、シーズの把握 			
庁内評価 (二次評価)	【評価】						

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	商店街の振興						事業類型	イベント					
担当部課	産業振興部産業政策課												
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	01	商工振興費
根拠	八王子市はばたけ商店街事業補助金交付要綱、八王子市輝く個店グループ支援事業補助金交付要綱												
事業目的	商店街の整備、店舗の集団化、共同店舗等の整備等の事業の実施を円滑にし、中小小売商業者の経営の近代化を促進すること等により、中小小売商業の振興を図る。												
人員体制			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	一般職員		1.97人		1.37人		1.40人		0.03人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		1.97人		1.37人		1.40人		0.03人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		0		0		0		0				
	委託料		0		0		0		0				
	光熱水費		0		0		0		0				
	賃借料		0		0		0		0				
	その他物件費		0		0		0		0				
	維持補修費		0		0		0		0				
	その他		36,642,000		35,504,000		35,737,000		233,000				
	計		36,642,000		35,504,000		35,737,000		233,000				
その他コスト	職員費		16,942,954		10,270,000		11,613,000		1,343,000				
	減価償却費		0		0		0		0				
	賞与引当金繰入額		1,016,923		716,774		776,362		59,588				
	退職給与引当金繰入額		101,394		0		631,256		631,256				
	計		18,061,271		10,986,774		13,020,618		2,033,844				
行政コスト 計		54,703,271		46,490,774		48,757,618		2,266,844					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		19,740,000		19,410,000		20,865,000		1,455,000				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		30,000		0		30,000				
	一般財源		16,902,000		16,064,000		14,872,000		1,192,000				
	事業費財源 計		36,642,000		35,504,000		35,737,000		233,000				
事業費及び事業費財源の主な増減説明													

27年度 目標	商店街が個別に行うイベント事業をまとめることで、コストダウンを図る。	26年度末時点 の課題	経費に関しては無駄と思える部分が散見された。				
活動実績	はばたけ商店街補助事業 27年度イベント事業 40商店会 1商店会連合会 商工会議所 活性化事業 1商店会 輝く個店グループ支援事業 27年度 2事業						
27年度評価	達成		次年度の展開	拡充			
活動推移			単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度
	活動 指標	イベントの開催件数など	件	57	59	59	0
	年間経費		円	54,703,271	46,490,774	48,757,618	2,266,844
	利用者1人あたりコスト		円/人	959,706.51	787,979.22	826,400.31	38,421.08
28年度 目標	更なる共同化を進め、相乗効果を生むイベント作り。	27年度末時点 の課題	共同で行えるものが他にもあったが、全てを行うことができなかった。				
28年度の取組	防犯カメラの設置と商店街の加入促進	29年度の計画	防犯カメラの設置と商店街の加入促進				
庁内評価 (二次評価)	【 評価 】						

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	高尾599ミュージアムの管理運営						事業類型	施設運営								
担当部課	産業振興部観光課															
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-					
予算	会計		一般会計		款	07	商工費		項	01	商工費		目	02	観光費	
根拠	八王子市高尾599ミュージアム条例															
事業目的	平成17年度、都より無償移管された東京都高尾自然科学博物館跡地に、東京都教育委員会との合意書に基づき整備した観光・学習・交流機能をもつ複合施設、高尾599ミュージアムの管理運営を行うもの。															
人員体制			25年度		26年度		27年度		対前年度							
	一般職員		0.00人		0.00人		2.68人		2.68人							
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人							
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人							
	計		0.00人		0.00人		2.68人		2.68人							
行政コスト	(単位 円)															
事業費			25年度		26年度		27年度		対前年度							
	人件費		0		0		0		0							
	物件費		0		0		94,712,825		94,712,825							
	委託料		0		0		83,157,840		83,157,840							
	光熱水費		0		0		1,679,833		1,679,833							
	賃借料		0		0		0		0							
	その他物件費		0		0		9,875,152		9,875,152							
	維持補修費		0		0		0		0							
	その他		0		0		5,156,052		5,156,052							
	計		0		0		99,868,877		99,868,877							
その他コスト	職員費		0		0		21,172,000		21,172,000							
	減価償却費		0		0		0		0							
	賞与引当金繰入額		0		0		1,486,178		1,486,178							
	退職給与引当金繰入額		0		0		1,208,404		1,208,404							
	計		0		0		23,866,582		23,866,582							
行政コスト 計		0		0		123,735,459		123,735,459								
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0							
	都支出金		0		0		39,000		39,000							
	市債		0		0		0		0							
	使用料・手数料		0		0		0		0							
	その他		0		0		0		0							
	一般財源		0		0		99,829,877		99,829,877							
	事業費財源 計		0		0		99,868,877		99,868,877							
事業費及び事業費財源の主な増減説明	27年度新規事業のため															

27年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年8月11日のオープンまで開館準備を指定管理候補者と連携して行うこと 開館日以降の指定管理者による運営を円滑に行うこと 年間来館者数目標 20万人 	26年度末時点 の課題	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者の決定が6月議会であることから、決定後開館日までの短期間で開館準備を行わなければならないこと。 				
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 当初の予定どおり平成27年8月11日に高尾599ミュージアムがオープンし、それ以降、指定管理者による運営ができた。 27年度末来館者数20万人弱と、想定年間来館者数15万人を超える約20万人の方が来館している。 						
27年度評価	目標以上の達成	次年度の展開	現状維持				
活動推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度	
	活動指標	来館者数	人			195,976	195,976
		年間経費	円	0	0	123,735,459	123,735,459
		利用者1人あたりコスト	円/人			631.38	
28年度 目標	<ul style="list-style-type: none"> イベント・収益事業、教育関連機能の充実、高尾山応援基金への協力 年間来館者数 20万人 	27年度末時点 の課題	収益事業や教育普及事業の充実				
28年度の取組	開館1周年記念イベントの開催等、高尾山麓の賑わいの創出に寄与できる絶え間ないイベントの実施、収益に貢献するミュージアムグッズの開発、小中学校の更なる受入等、教育関連事業の充実、高尾山応援基金に関連するミュージアムグッズの開発及び展開など	29年度の計画	平成30年8月～の新たな指定管理期間に向けた指定管理者選定事務を行う				
庁内評価 (二次評価)	【評価】						

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	一般観光の推進						事業類型	イベント					
担当部課	産業振興部観光課												
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興			まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-	
予算	会計	一般会計			款	07	商工費	項	01	商工費	目	02	観光費
根拠	平成27年度(公社)八王子観光協会に対する補助金交付要綱、八王子市いきいき産業基本条例												
事業目的	観光産業振興プランの主体的な担い手である(公社)八王子観光協会や、観光関連諸団体と連携し、本市の観光振興を図るため。												
人員体制			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	一般職員		1.47人		1.46人		1.47人		0.01人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		1.47人		1.46人		1.47人		0.01人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		3,842,253		3,036,167		3,052,224		16,057				
	委託料		558,016		59,616		59,616		0				
	光熱水費		179,262		201,081		237,484		36,403				
	賃借料		2,100,933		2,320,464		2,320,464		0				
	その他物件費		1,004,042		455,006		434,660		20,346				
	維持補修費		0		0		0		0				
	その他		29,287,276		29,330,687		36,664,000		7,333,313				
	計		33,129,529		32,366,854		39,716,224		7,349,370				
その他コスト	職員費		13,108,495		7,979,000		11,613,000		3,634,000				
	減価償却費		0		0		0		0				
	賞与引当金繰入額		786,776		804,990		815,179		10,189				
	退職給与引当金繰入額		78,446		0		662,818		662,818				
	計		13,973,717		8,783,990		13,090,997		4,307,007				
行政コスト 計		47,103,246		41,150,844		52,807,221		11,656,377					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		0		0		0				
	市債		0		0		0		0				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		1,548,695		0		1,548,695				
	一般財源		33,129,529		30,818,159		39,716,224		8,898,065				
	事業費財源 計		33,129,529		32,366,854		39,716,224		7,349,370				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	(公社)八王子観光協会に対する人件費の増加及び、外国人観光客支援事業(宿場町マップ作成)等の新規事業が発生したため。												

27年度 目標	高尾と滝山を本市の二大観光地とした誘致 誘客策 効果的な事業運営にむけた職場環境の整備 新たな観光振興事業の定着化	26年度末時点 の課題	観光関連諸団体との関係の必要性も見極め検討する。			
活動実績	MICEを含む新たな観光協会の書式検討を行った。また、(財)東京観光財団に参加し、ニュースレターやセールスコールの参加を通して、海外でのPRを行った。また、北条五代観光推進協議会では、小田原・寄居の北條祭りに参加し、交流を深め、北条の大河ドラマ化に向けた様々な活動を行った。産官学の連携により外国人観光客誘致のためのマップ作成を行った。					
27年度評価	達成		次年度の展開	改善		
活動推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度
	活動指標	観光行政の補助				0
		年間経費	円	47,103,246	41,150,844	52,807,221
		利用者1人あたりコスト	円/人			
28年度 目標	観光協会、商工会議所、市が新たな組織への議論を十分に行い、役割分担を明確にして新組織でMICEを含む観光振興が推進できる状態とする。	27年度末時点 の課題	観光関連諸団体との関係の必要性も見極め検討する			
28年度の取組	新たなMICE推進組織と現在の(公社)八王子観光協会の事業を融合のため、事業を整理等、関係機関との連携のもと、より効果的・効率的な観光振興策を推進する。また、関連団体等の連携を深め今後あらたな展開に結びつける。	29年度の計画	MICEを含めた新たな協会組織を設立し、外国人観光客を含めた観光客の誘致を行うなど八王子の魅力発信を図る。また、関係機関との連携のもと、より効果的・効率的な観光振興策を推進する。			
庁内評価 (二次評価)	【評価】					

事務事業評価シート(平成27年度事業)

事務事業名	中心市街地の総合的な再生						事業類型	調査・企画立案					
担当部課	都市計画部土地利用計画課 拠点整備部中心市街地整備推進課												
計画	編	5	章	3	施策番号	41	にぎわいにつながる産業の振興				まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	
予算	会計	一般会計			款	08	土木費	項	03	都市計画費	目	01	都市計画総務費
根拠	都市再開発法												
事業目的	中心市街地活性化基本計画に示された中心市街地の再生を目的とした中心市街地まちづくり方針(市街地総合再生基本計画)を策定する。計画の策定により、民間投資による共同化や小規模再開発等、中心市街地の特性に応じた市街地更新を促進するとともに、優先度の高い街区の主要幹線道路及び細街路を面的に整備を行うことにより、地域の活性化及び防災性・回遊性の向上を図る。												
人員体制			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	一般職員		0.00人		2.90人		3.45人		0.55人				
	任期付職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	再任用職員		0.00人		0.00人		0.00人		0.00人				
	計		0.00人		2.90人		3.45人		0.55人				
行政コスト	(単位 円)												
事業費			25年度		26年度		27年度		対前年度				
	人件費		0		0		0		0				
	物件費		0		32,315,090		14,375,873		17,939,217				
	委託料		0		32,315,090		14,341,773		17,973,317				
	光熱水費		0		0		0		0				
	賃借料		0		0		34,100		34,100				
	その他物件費		0		0		0		0				
	維持補修費		0		0		0		0				
	その他		0		360,000		25,358,722		24,998,722				
	計		0		32,675,090		39,734,595		7,059,505				
その他コスト	職員費		0		22,910,000		27,255,000		4,345,000				
	減価償却費		0		0		0		0				
	賞与引当金繰入額		0		1,598,956		1,913,177		314,221				
	退職給与引当金繰入額		0		0		1,555,595		1,555,595				
	計		0		24,508,956		30,723,772		6,214,816				
行政コスト 計		0		57,184,046		70,458,367		13,274,321					
事業費財源	国庫支出金		0		0		0		0				
	都支出金		0		12,600,000		0		12,600,000				
	市債		0		0		22,400,000		22,400,000				
	使用料・手数料		0		0		0		0				
	その他		0		0		184,000		184,000				
	一般財源		0		20,075,090		17,150,595		2,924,495				
	事業費財源 計		0		32,675,090		39,734,595		7,059,505				
事業費及び事業費財源の主な増減説明	各年度において、道路舗装整備面積や設計延長等に違いがあるため												

27年度 目標	平成26年度成果に基づき計画を策定 計画の実現に向けた地区まちづくりの先行 実施 市道八王子164・165号線の工事 市道八王子152号線外4路線の詳細設計 『街の灯り』整備事業による街路灯の整備	26年度末時点 の課題					
活動実績	平成26年度成果に基づき計画を策定した。 計画の実現に向けた地区まちづくりの先行実施を行った。 市道八王子165号線の工事を行った。 市道八王子158号線外3路線の詳細設計を行った。 『街の灯り』整備事業における地元調整・協議を行った。						
27年度評価	達成	次年度の展開	現状維持				
活動推移		単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	対前年度	
	活動 指標	中心市街地歩行量 (29地点、平休日合計13時間)	人		951,783	979,015	27,232
		年間経費	円	0	57,184,046	70,458,367	13,274,321
		利用者1人あたりコスト	円/人		60.08	71.97	11.89
28年度 目標	中心市街地歩行量(29地点、平休日合計13時間)の1%増加。	27年度末時点 の課題	・市道八王子164号線工事契約の不調 ・西放射線ユーロード整備における関係所管との事業調整				
28年度の取組	(1)中心市街地まちづくり方針(市街地総合再生基本計画)の実現に向けた地区まちづくりの実施 (2)駐車場地域ルール of 策定 (3)子安神社通りの工事 (4)市道八王子160号線外1路線の工事 (5)四ツ辻(れんが通り)の街路灯整備 (6)西放射線ユーロード(新規)の設計・工事	29年度の計画	(1)中心市街地まちづくり方針(市街地総合再生基本計画)の実現に向けた地区まちづくりの実施 (2)駐車場地域ルール of 策定 (3)西放射線ユーロードの施設整備 (4)四ツ辻(長小路通り)の街路灯整備 (5)子安神社通りの架空線整理				
庁内評価 (二次評価)	【 評価 】						

